

2024年度  
第7回 理事会議事録

2024年 11月 19日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2024年度 第7回理事会議事録

1. 日 時 2024年 11月 19日 (火) 14:00～17:00

2. 場 所 全構協 第一会議室

3. 構 成 員 14名

4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)

## 5. 議事次第

- (1) 開会の辞
- (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
- (3) 会長挨拶
- (4) 前回理事会議事録の確認
- (5) 審議事項  
第1号議案 電帳法事務処理規則の件
- (6) 報告事項
  - 1) 2025年賀詞交歓会実施について
  - 2) 委員会等活動状況報告
    - ① 運営委員会
    - ② 技術委員会
    - ③ 凶面問題対応検討WG
    - ④ 一次加工品質管理WG
    - ⑤ 外部団体との意見交換会対応WG
    - ⑥ 人づくり研修 (研修実施概況)
  - 3) 青年部との意見交換会について
  - 4) 工場認定条件の保持状態の確認について
  - 5) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
  - 6) その他 (管理責任者等の届出について)
- (7) その他の定例報告事項
  - 1) 構成員登録状況
  - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
  - 3) 2024年度主要会議日程
  - 4) 支部報告
- (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「今日は、2024 年最後の理事会となります。各委員会等の活動も本格化してきました。また、「人づくり研修」も順調に開催されています。年明け以降も色々ご相談すべき案件があろうかと思いますが、よろしくお願ひします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2024 年度第 6 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

### (5) 審議事項

#### 第 1 号議案：電帳法事務処理規則の件

電帳法事務処理規則の件について議案書（P3-5）により説明された。

- ・本規則は、電子帳簿保存法（電帳法）の施行、データ保存の実施義務化を踏まえ事務処理内容を定めたもの。
  - ・法的要件認証を受けたソフトを使用して処理を行うことを前提としつつ、例外的な作業の可能性も考慮し規則を定めておく。
  - ・規則については、国税庁の整理している内容を参考に策定している。
- 本議案に対する質問、意見等はなく、原案どおり承認された。

### (6) 報告事項

#### 1) 2025 年賀詞交歓会実施について

1 月に開催される新年賀詞交歓会の実施について、議案書（p7）に沿って、以下の説明があり、確認された。

- ・2025 年賀詞交歓会は従来方式で開催する。同日開催の全国理事長会については、図面問題対応等を含め、丁寧な説明が行えるよう従来に比べ長めの 1 時間半を予定している。事業報告の内容については、今後詰めていくこととする。
- ・開催の案内については理事の皆さんを含め、11 月後半に発信、12 月中旬に出欠回収というスケジュールで進める。
- ・賀詞の漢字表示に関するご指摘があり、確認することとした。

## 2) 委員会等活動状況報告

### ①運営委員会

運営委員会について、議案書 (p8-14)に沿って、妹尾委員長より内容が説明され、確認された。

- ・理事会から諮問されたテーマについては、「快適職場を参考とする独自制度関連 (チェックシート作成)」、「共済の保険関係」、「共済の商品関係」の3つ分科会を設置し、検討を進めていく。
- ・11-12月で分科会を開催、その後委員会で検討を進めた上で、3月までには最終報告をまとめる方向で活動する。
- ・業界動向調査については、回答数：約1,600件、回答率：約74%となり、目標としていた70%を超える回答率を確保した。  
回答率向上に向けた皆様のご協力に感謝申し上げます。
- ・速報として、決算状況、従業員人数関連について整理した。今後精査の上分析を進めていきたい。
- ・速報内の人数情報については異常値が出ている可能性があり、運営委員会で確認の上、必要があれば修正を行うこととした。
- ・共済の実績状況について、還付金、保険、塗料、鋸刃の各項目について報告があった。

### ②技術委員会

技術委員会について、議案書 (p15-17)に沿って、岩永委員長より内容が説明され、確認された。

- ・JASS6及び関連指針の改定、溶接施行WGの活動進捗、溶接ワイヤーのミルシート関連、検査基準マニュアルの修正対応等について、報告があった。
- ・技術委員会に諮問された下記2つのテーマに関して、対応方針が確認された。
  - 1 「機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討」については、委員会内で生産性向上に関わるニーズを調査の上、必要に応じて関係先にヒアリングを行い、調査結果を共有するという進め方とする。
  - 2 「S造化の推進」については、鉄連との連携を中心に、鉄連主催のセミナーへの参加、講演内容やデータの共有化・展開等を行うという進め方とする。特に、木造との比較データの収集という観点を含め、活動を進めたいとの報告があった。

### ③図面問題対応検討WG

図面問題対応検討WGについて、議案書 (p18)と別冊資料に沿って、小貫専務から説明され、議論された。内容は以下の通り。

- ・冊子は「契約編」と「法令編」の2分冊とし、法令編の表紙に「取扱注意」と明記することとした。
- ・分冊の資料について、契約編では製作図作成費の扱いの部分、法令編では取引先からの代金減額を理由とした減額の例について修正を行った。
- ・前回理事会で保留とした資料の扱いについては、あらためてWGでも協議した。契約編も法令編も、協会の構成員は正しく理解すべき内容であり、両資料とも全構成員に配布・説明を実施する。  
ゼネコン等に対する取扱いについても、本資料の内容は法令で決まっている内容を解説したものであり、関係先との対等な関係の構築を目指し、きちんと発信してくべきものとした対応することとする。
- ・今後の進め方として、1次説明会は支部を対象に全構協が12月以降実施。2次説明会については、構成員を対象に、来年3月末を目途に、各県組合から実施する。
- ・資料については、各県での2次説明会のタイミングに合わせて送付を行い、説明会時に2分冊とも出席者に配布、欠席した方に対しては組合から送ってもらうことを考えている。
- ・実際に説明を聞くことで理解が深まると考えており、周知については、様々な機会を使って進めていく必要がある。
- ・説明の中では、「見積条件書」について2025年4月の一斉使用開始の徹底をお願いしていく。
- ・各県で行う2次説明会については、説明者の選定等、各支部、各県で連携しながら調整を進める必要があるとの意見があった。
- ・今後の「見積条件書」の使用に向けては、今年4月以降各関係先に提出した「要望書」の趣旨と内容について、あらためて説明し協力を求めるという活動が必要であるとの意見があった。
- ・鉄骨製作図問題の改善に向けて、是非今回の「見積条件書」を活用していきたいとの意見もあった。

#### ④ 一次加工品質管理 WG

一次加工品質管理 WG について、議案書 (p19-22) に沿って、岩永リーダーより内容が説明され、確認された。

- ・第1回のWGを、ファブ側のメンバーのみで9月25日に実施した。
- ・本WGの意義について、全構協内部での認識共有化が必要であるとの意見があり、「フローチャート等を用いた説明書」作成し周知を図ることとした。
- ・今後の進め方として「一次加工に関する構成員向けアンケート」を実施し、実態と問題点の把握を進める。

- ・各地域でWGの活動について質問等があった場合は、本資料で説明を行っていただきたい。
- ・今後の検討については、都度状況を報告、相談しながら進めていきたい。
- ・まずは、「構成員向けアンケート」の結果を確認した上で、今後の方向性を判断していくこととする。

### ⑤ 外部団体との意見交換会対応 WG

外部団体との意見交換会対応WGの活動について、議案書(p23-24)に沿って、登尾リーダーより内容が説明され、確認された。

- ・WGについては、登尾理事をリーダーとし、東北支部、関東支部、九州支部から推薦をいただいた3名の方を加え、4名構成とする。
- ・活動として以下の2つの内容で進めることとしたい。
  - 1 各支部の意見交換会の実態調査を行い、結果を整理するとともに、優れた事例があれば、横展開を実施。
  - 2 実態調査の内容等を踏まえ、設計者団体、元請団体等の外部団体との意見交換の進め方を検討していく。

### ⑥ 人づくり研修（研修実施概況）

5支部で開催された人づくり研修について、実施概況等について、報告された。

### 3) 青年部との意見交換会について

本日の「青年部との意見交換会」について、別冊資料にそって説明があり、確認された。

### 4) 工場認定条件の保持状態の確認について

工場認定条件の保持状況確認結果について、議案書(p26)にそって、説明され、確認された。

- ・対象認定工場約500工場のほぼ全部から回答が提出された。体制の変更があった工場が39%:約200工場、内報告書未提出が、7%:36工場という結果。
- ・資格者の一覧表が未作成の工場は、7%程度と昨年比やや改善という状況。
- ・報告書未提出の工場については、各都道府県の組合に対して、速やかな処置の実行、性能評価機関への報告書提出の指導をお願いしていく。

### 5) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告」について、議案書(p27)にそって小貫専務理事より以下の説明があり、確認された。

- ・本年4月から11月までの職務執行状況である。
- ・定例的な会議等のほか、各支部会、各県の総会、周年行事等に出席したこと、また要望活動や経産省との団体ヒアリング等の対応を行った。

## 6) その他 (管理責任者等の届出について)

管理責任者等の変更の届出の件、永井会長より以下の内容の説明があった。

- ・今回性能評価機関から出ている管理責任者等の届出の変更の件については、単なる届出様式の変更の話に留まらず、品質管理体制の維持・確保に関わる重要な問題をはらんでいると認識している。
- ・認定上求められている資格者要件の確保については法律で決まっていることであり、各事業者は突発的な事情で不足が生じる場合を含めて、備えておく必要がある。
- ・今日は、本問題の重要性を共有化させていただくという趣旨で説明をさせていただいた。今後、決まった内容があれば、きちんと発信させていただく。

## (7) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

本日現在の構成員数は、前回報告時(9月24日)より3社減少し、2,153社であること等が、議案書(p29-33)により報告された。

### 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

4-9月の鉄骨推定所要量は、192万6千㎡、前年比98.6%となった。

### 3) 2024年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p35)により確認された。

### 4) 支部報告

議案書により配布され、時間の都合により説明は省略された。

## (8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
〃	板 垣	昌 之
専務理事	小 貫	武
理 事	竹 原	慎 雅
〃	三 浦	隆 宏
〃	安 達	次 雄
〃	前 田	正 美
〃	稲 垣	法 信
〃	佐 野	勝 也
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	吉 岡	晋 吾

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名